

**製品名: ATTY ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe87306**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:50 kDa; Observed MW:50 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ATTY
別名	TAT; Tyrosine aminotransferase
遺伝子ID	6898
SwissProt ID	P17735
免疫原	ヒト ATTY の合成ペプチド

**背景**

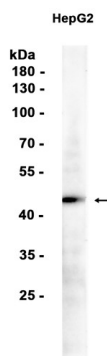
この核遺伝子は、肝臓に存在し、L-チロシンから p-ヒドロキシフェニルピルビン酸への変換を触媒するミトコンドリアタンパク質チ

ロシンアミノトランスフェラーゼをコードする。この遺伝子の変異は、チロシン血症 (II型、リッチナー・ハンハート症候群) を引き起こす。これは、重篤な皮膚および角膜病変を伴い、認知障害を引き起こす可能性がある疾患である。チロシンアミノトランスフェラーゼの制御遺伝子はX連鎖性である。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ATTY ウサギモノクローナル抗体を 1:100 で使用して HepG2 細胞抽出物のウェスタンブロット分析を行いました。